

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	地縁知縁の絆創生プロジェクト ～新しい公共の場としての「三鷹まちなか協働サロン」運営に向けて～
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠    (該当するものにチェック)
事業実施主体名	三鷹まちなか協働サロン運営協議会
実施期間	平成23年9月26日から平成25年3月31日まで
支援額 (注釈参照)	12,000,000円 委託費：11,422,880円    設備備品購入費：407,120円    印刷製本費：170,000円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	<p>本事業の主担当者となるNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構は、三鷹駅前の施設で2005年より「協働サロン事業」を定期的実施しており、様々な人が学びや情報共有を通じて出会い、ともに活動する場の提供についてノウハウと実績があり、本事業においても、各拠点でイベントを実施する際の支援を行った。</p> <p>NPO法人みたか都市観光協会は、都市観光を中心とした情報発信やイベント実施に実績があり、駅前の観光案内所等、市内での拠点運営に経験があり、各拠点での観光情報発信の支援を行った。</p> <p>三鷹市においては、地域ケアネットワークの窓口として、市内福祉事業者や、地域包括支援センターなどとの連携を支援した。</p>
事業概要	<p>※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構、NPO法人みたか都市観光協会、株式会社まちづくり三鷹、三鷹商工会、三鷹市商店会連合会の諸団体が、三鷹市とともに協議体を発足させ、地縁と知縁による絆づくりをめざす「三鷹まちなか協働サロン」を運営した。</p> <p>これまで三鷹ネットワーク大学で実施してきた「協働サロン事業」などを地域で展開しながら、知識や知恵を共有することで生まれる「知縁」によるコミュニティの創出と、地域福祉を市民が担う「地域ケアネットワーク事業」等との連携や、地域の商店街との協働による買い物環境整備等による新たな「地縁」の創出のために、商店街の空き店舗等を活用した新たな交流の拠点づくりを行った。市民の交流機能と、ホスピタリティの融合による協働の事業運営を行い、互助・共助を含む福祉サービスの提供や、商店街活性化、都市観光情報提供、講座やセミナーなどを行った。</p>
事業内容	<p>※ 事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担(直接、委託、助成を含めて)等について記載してください。</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p>

(1) 「三鷹まちなか協働サロン」拠点の整備・運営

本事業では、三鷹市が取り組む「買い物支援事業」とも連携しながら、5つの「三鷹買物支援事業協議会」を対象に公募を行い、市内2か所4拠点の地域に根差した交流拠点「三鷹まちなか協働サロン」を設置、商店会で営業中の店舗、空き店舗を利用して事業を実施した。各拠点の運営にあたっては、地域に根差した活動が可能な「拠点支援員（サロンコーディネーター）」にサロン運営を委託し、拠点の運営にあたった。各拠点は、人の交流を図るためのイベントの開催のほか、日常的に立ち寄れるサロンとしての機能や、各種福祉サービスの情報提供や活動拠点として、複合的な役割を担った。

	1-A	1-B
実施者/店舗名	有限会社 ひさみね (店名:きものサロン ひさみね)	有限会社 糧や (店名:ハーベストオープン)
拠点通称/呼称名	三鷹まちなか協働サロン・ひさみね	三鷹まちなか協働サロン・ハーベストオープン
拠点支援員・サロンコーディネーター	山縣 哲治	宇尾 悦郎

	2-A	2-B
実施者/店舗名	西野 和広 (屋号:こだわり茶処 西野園)	笠岡 展子 (屋号:井の頭和菓子処末廣屋喜一郎)
拠点通称/呼称名	三鷹まちなか協働サロン・西野園	三鷹まちなか協働サロン・末廣屋喜一郎
拠点支援員・サロンコーディネーター	西野 和広	笠岡 展子

(2) 「三鷹まちなか協働サロン」イベント事業等の実施

三鷹ネットワーク大学での6年間の実績から、「知縁」を形成するための様々な試みを、イベント事業として市民に身近な拠点へ「出前」し、地域ニーズに合わせて開催した。高齢者や子育て中の親子など、昼間人口市民を主なターゲットとしつつ、小・中学生や現役世代の参加も可能なプログラムを提供して、地域に根差したサロン運営を行った。

(3) 広報活動

ア チラシの作成・配布

三鷹まちなか協働サロン事業の活動を地域に広く知ってもらうため、三鷹まちなか協働サロン事業のパンフレットの裏面を活用した「三鷹まちなか協働サロンだより」(写真)を発行し、サロン拠点周囲の地域への各戸配布を行ったところである。

このサロンだよりでは、協働サロンの概要はもとより、各拠点のサロンコーディネーター(店主)の人柄が伝わるようなインタビューや、拠点で開催したイベントの様子がわかるレポートなどを掲載している。サロン通信を見てサロンを訪れた利用者もおり、本事業の広報活動のひとつとして成果を挙げたものと考えている。

イ ホームページの開設・運営 (<http://mitaka-machinaka.tumblr.com/>)

三鷹まちなか協働サロン事業について、事業目的や活動内容、各拠点やイベント情報等を広く広報するためのホームページを構築した。サロンコーディネーターの活動サポートのための情報集積として、三鷹市買い物支援事業や地域ケアネットワーク事業の紹介ページなど、「拠点を利用する市民が自ら活用する情報」だけではなく、「拠点を利用する市民を支援するための情報」の集積と発信を含めた活用を図った。

得られた成果及び自己評価	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカム等の事業の総評を記載する。(500字以内)</p> <p>これまでの行政サービスは、ハードとしての施設を整備し、運営していくことが一つの「型」としてあったが、今後の財政的な見通しの中では、すべてをこの「型」で展開していくことは、恐らく全国どこの自治体でも難しいであろう。</p> <p>こうした中で、本事業は、商店街活性化や地域活性化などの課題をより身近に感じている地域の方々と、コミュニティ創生や地域ケアなどの行政的な観点を含めた課題として共有し、本事業に加わってもらえたことに大きな意義がある。</p> <p>本事業は今後の商業環境の変化、利用者の変化など、先行きが不透明な部分もまだある。また、サロンコーディネーターの活動の動機となる、商業的なメリットなど、評価の難しい課題があるのも事実である。</p> <p>ただ、商店会において中心的な活動をするなど、商業振興に関わってきて頂いた方たちに、本事業の理念を理解していただけたことが、結果として空き店舗や空きスペースを提供してもらいつつ、サロンコーディネーターを務めてもらうことに結びついた。このような負担を提供してもらえることで、施設の整備や、今後の固定経費などの行政側の負担を抑制することができ、結果的に行政等の財政状況に左右されない、より継続的な運営が期待できる環境にすることができたことは、一つのモデルとして提示することができる。</p>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

### 自己評価シート